

岡山プログラム小委員会 報告

太田耕司 (京大理)

1、2002年度前期 共同利用

採択件数/申込件数

188cm	プロジェクト	1/1 件 (継続課題)
188cm	一般	9/11 件
91cm		9/9 件

188cm 申請状況

分野別：系外銀河 0、銀河系内 11、太陽系 0
装置別：S-OASIS 3、HIDES 7、HBS 1

- *UMの議論を受け、188cm 一般は割当日数に上限を設けないとすることを確認した。
- *申し込み件数が少ないが、レフェリーは従来通り各申請課題に5人とした。
- *188cm プロジェクトについては、特に問題がないのでそのまま継続とした。
- *188cm 一般については、申請書にかかれた要求夜数を削減していけば、すべての課題の採択も不可能ではなかったが、総合評価で高い評価を得た申請に対し妥当な夜数を割り当てるべきとの観点から、評価の低い方から2課題を不採択とした。
- *91cm についても委員会で審査した上で、全て採択した。但し、全般的に観測の科学的意義について、もう少し丁寧に書いて欲しいというコメントがあった。

2、2002年度後期 共同利用

採択件数/申込件数

188cm	プロジェクト	1/1 件 (継続課題)
188cm	一般	11/16 件
91cm		8/8 件

188cm 申請状況

分野別：系外銀河 1、銀河系内 14、太陽系 1
装置別：S-OASIS 5、HIDES 11

- *188cm 望遠鏡プロジェクトについては、特に問題もないので、継続として採択 (プロジェクトから派生してきた課題の申請もあり、評価が高かった)
- *一般枠については、審査の結果11課題を採択した。
太陽系天体 (金星) の場合、明け方あるいは夕方の時間帯だけの観測であるので、観測効率を上げるため、他の観測との合同は不可という申請を出された方とプログラム小委員会で調整を行い、合同観測とさせてもらった。観測の交代時間については、プログラム小委員会からガイドラインを提示し、詳細は観測者間での相談とした (相談しにくい場合には観測所が仲介することとした)。
- *2002年前期に割当られた課題で、装置の不具合で観測を実施できなかったものについて、今期に時間を割り当てた。
- *91cm 望遠鏡についてもプロ小で審査した上で、全て採択した。

特記事項：

2002年3月に、91cm望遠鏡とN分光器を用いて地元大学（岡山大、広島大等）の学部生を対象にした相互乗入れ実習（教員も観測所と西日本の大学で共同）が所長預かりの時間を用いて行なわれた。

2002年後期には、この実習を188cm望遠鏡で行ないたいので共同利用枠から3晩欲しい旨所長から提案がなされた。

このような試みは評価すべきではあるが、188cm望遠鏡の競争率を考えた場合、現時点でコミュニティとして合意が形成されているとの判断はしかねるので、プログラム小委員会としては、今回はこの時間のために共同利用可能夜数を減らすことはしないで欲しいと要望し、結果として、後期の実習も91cm望遠鏡で所長預かりの時間に行なうこととなった。UM等でこのような事業に意義を認め、188cm望遠鏡で行なうことについて、合意・理解が得られれば、来年以降は188cm望遠鏡での実習時間を年間数日とする可能性が高い。

参考資料

	188cm 一般		プロジェクト	91cm		共同利用観測装置	
			(新規)	(継続)	(188cm)	(91cm)	
1999 年前期	17/22		6/6		ニュートン CCD, クーデ CCD, 新カセ, OASIS	OOPS, Z-Sp	
1999 年後期	13/23(制御系改修)		8/8		クーデ CCD, 新カセ, OAS	OOPS	
2000 年前期	18/24		5/5		新カセ, OASIS, HIDES(PI)	OOPS	
2000 年後期	15/18	1/2	-/-	12/12	新カセ, OASIS, HIDES(PI)	OOPS(PI), HBS(PI)	
2001 年前期	11/11	0/1	1/1	8/8	新カセ, HIDES, HBS(持ち込み)	HBS(PI), OOPS(PI)	
2001 年後期	11/21	0/0	1/1	8/8	新カセ, OASIS, HIDES	HBS(PI), OOPS(PI)	
2002 年前期	9/11	0/0	1/1	9/9	HIDES, S-OASIS(PI), HBS(持ち込み)	HBS(PI)	
2002 年後期	11/16	0/0	1/1	8/8	HIDES, S-OASIS(PI)	HBS(PI)	

注：2001年頃から、1課題での要求夜数が増え、7夜から14夜の申請が多くなった。

新制御系の実際の運用開始は2001年前期、安定運用に入ったのは2002年前期。

188cmのHBSは持ち込み装置扱い。HIDESは共同利用初年度はPIタイプとした。S-OASISの2002年度もPIタイプとした。91cmのOOPSは2000年後期以降はPIタイプとした。2001年前期・後期のOOPSはまだPIタイプ装置であったが、不具合の改修が進まず観測申し込みをがなかった。

以上